

5班 分析テーマ：労働災害による死者数と気象要素@北海道・東京・愛知・大阪

仮説

建設現場を代表とする労働現場においては、
暑い→注意力等の散漫
降水や積雪→足元の悪さ

分析過程

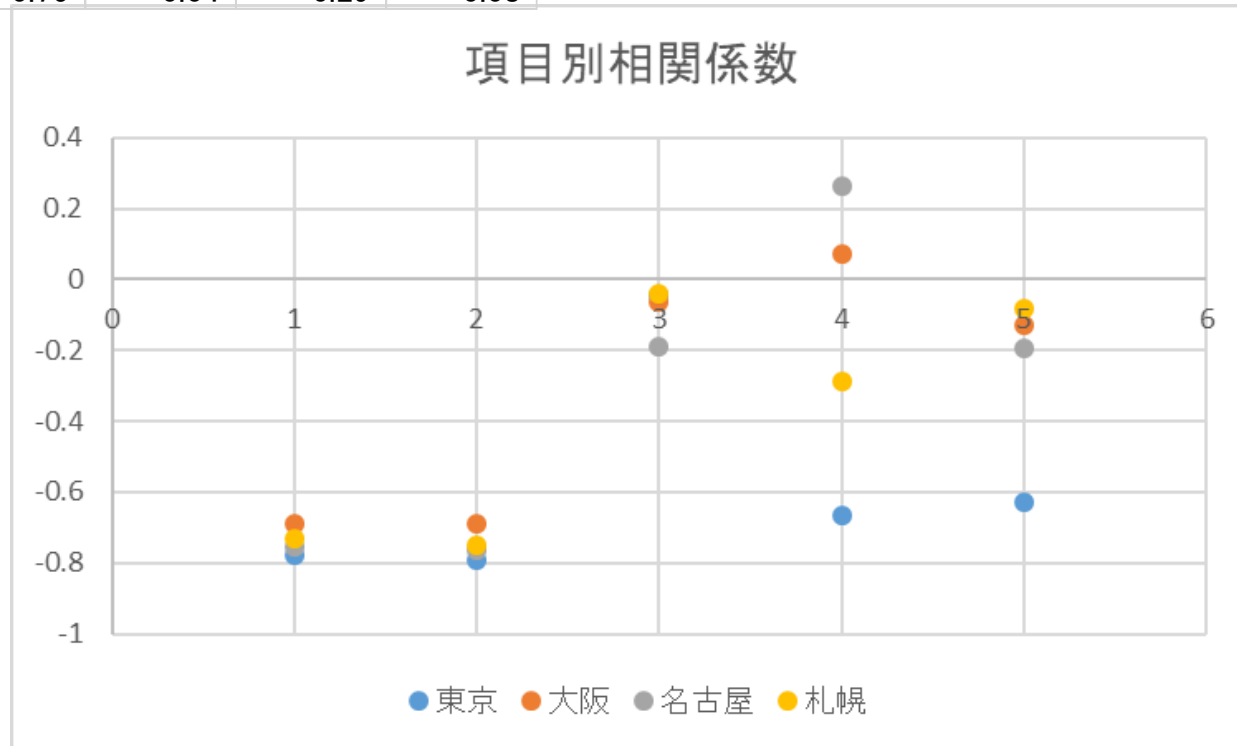
- ・気象庁のデータ, 29年度1年間分の各項目の月平均
- ・**東京, 名古屋, 大阪, 札幌**の月別の死亡事故発生件数の相関を調べる

項目：平均気温, 日最高気温, 降水量の合計, 平均風速, 平均湿度



分析結果

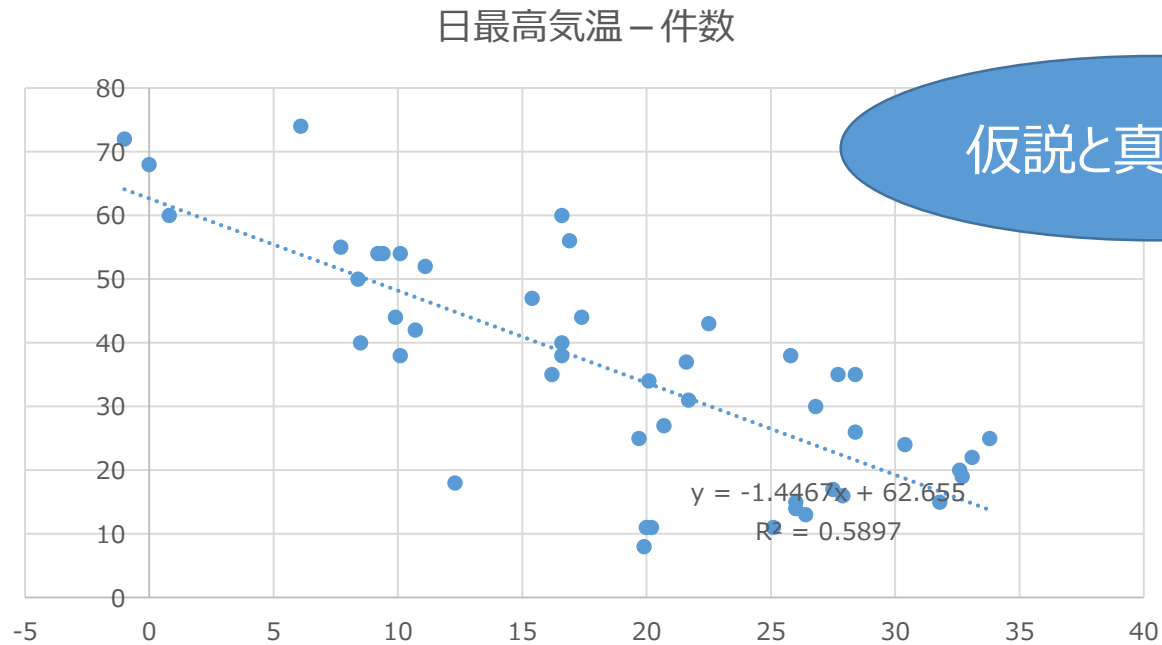
	1	2	3	4	5
	平均気温 (°C)	日最高気温の平均 (°C)	降水量の 合計(mm)	平均風速 (m/s)	平均湿度 (%)
東京	-0.78	-0.79	-0.05	-0.67	-0.63
大阪	-0.69	-0.69	-0.07	0.07	-0.13
名古屋	-0.75	-0.76	-0.19	0.26	-0.20
札幌	-0.73	-0.75	-0.04	-0.29	-0.08



分析結果

相関の高かった結果

東京, 大阪, 名古屋, 札幌合わせた日最高気温と労働災害発生件数の相関



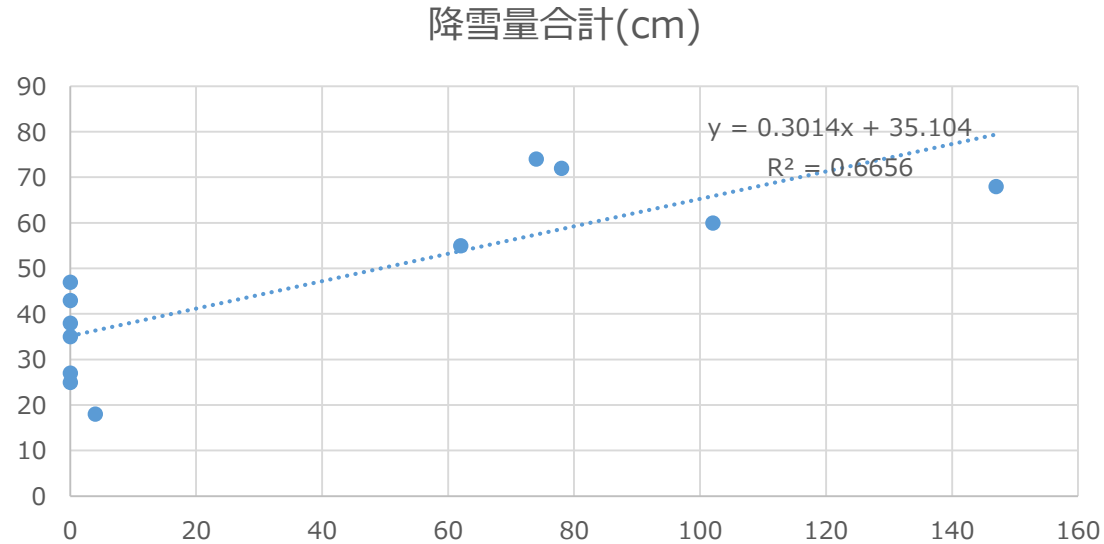
相関係数 : 0.768



分析結果

相関の高かった結果

札幌の月降雪量合計と労働災害発生件数の相関



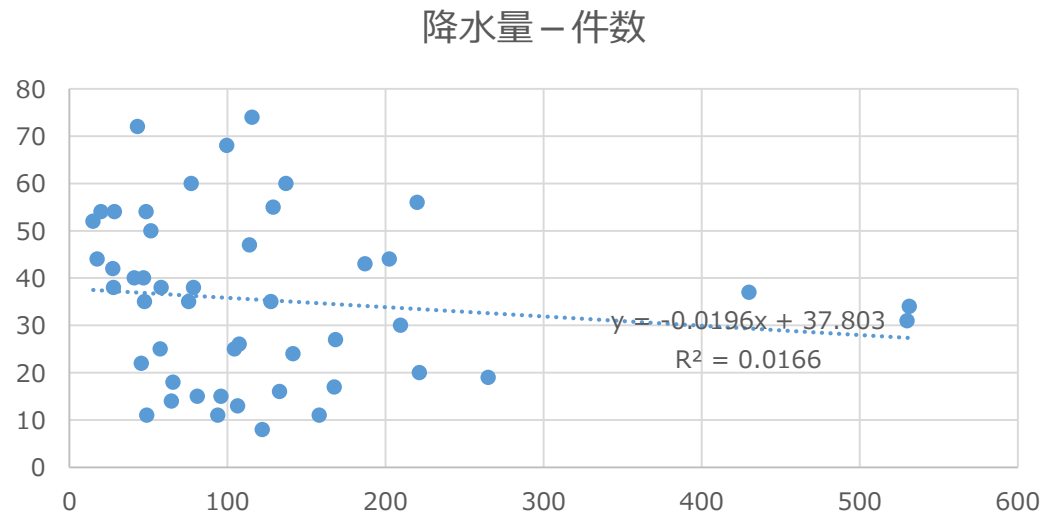
相関係数 : 0.816



分析結果

意外と相関の高くなかった結果

東京, 大阪, 名古屋, 札幌合わせた降水量と労働災害発生件数の相関



相関係数 : 0.129

